

## 「日独青少年指導者セミナー」

### 1 趣旨

研修テーマである「子ども・若者の力を育む～若い人の力を育てるための青少年教育の果たす役割～困難を抱える青少年の支援」に基づき、行政機関、関係団体・施設等での実地体験、青少年教育指導者との研究協議などを通じて、日本の青少年教育等の現状と取り組みの理解や、日独の青少年教育等の比較などを行い、青少年教育指導者の資質・能力の向上を図る。

### 2 ねらい

- ・当施設や石川県内の児童相談所、少年鑑別所と事業内容について、お互いに意見交換を行うことで、困難を抱える青少年の支援のあり方について、理解を深めることができる。
- ・羽咋市、志賀町内でホームステイを行い、日本の伝統や文化、風習に直接触れて、学ぶことができる。

### 3 日程

(1) 期 日 平成23年11月4日(金)～11月8日(火)【4泊5日】

(2) 参加者 ドイツ団員9名(男性2名、女性7名)

(3) 研修内容

11月4日 (金)	午後	○入所式 ○ホストファミリーとの対面
11月5日 (土)	終日	○ホストファミリーと共に過ごす
11月6日 (日)	午前	○ホストファミリーと共に過ごす
	午後	○ホストファミリーとのパーティ ○施設見学、団員ミーティング
11月7日 (月)	午前	○能登青少年交流の家職員との教育事業についての意見交換
	午後	○退所式 ○石川県中央児童相談所視察、概要説明、職員との意見交換
11月8日 (火)	午前	○金沢少年鑑別所視察、概要説明、職員との意見交換
	午後	○評価会のため、バスで京都へ移動

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・研修のテーマに従って、当所が実施している教育事業や研修支援についての意見交換を行うことで、今後検討していかなければならない「課題を抱えた青少年」を対象にした事業の進め方について学ぶことができた。
- ・児童相談所を研修先にするすることで、不登校だけでなく、児童虐待やDVなどの実態についても知ることができた。また、その背景について、ドイツの実情と比較しながら、今後の支援のあり方について検討することができた。
- ・ドイツには、少年鑑別所のような施設はなく、団員の興味・関心は高かった。また、今回の視察で、非行少年の診断方法や支援のあり方について詳しく学ぶことができ、「ドイツに向けた提案」として挙げられた。
- ・ホームステイでは、それぞれの家庭で、文化財や学校等を訪問したり、日本食を堪能したりすることで、どの団員にとってもいい思い出となった。また、受け入れ先の家庭にとっても、国際交流を深める上で、貴重な体験となった。特に小学生以下の子どもがいる家庭では好評であった。
- ・ドイツ団員とホストファミリーとの情報交換会では、ホストファミリーと共に過ごした時間を振り返り、お互いに紹介し合うことで親睦を深めることができた。また、プログラムの中に、和太鼓演奏の披露と体験を取り入れることで、日本の文化について興味・関心を持ってもらうことができた。

### (2) 課題

- ・ドイツ団員は、積極的に議論を行うため、当初予定していたよりも、意見交換をする時間が足りなかった。事前に質問内容は届けられていたので、的を絞って進めればよかった。
- ・ホームステイの受け入れ先を探すのにあたり、当所だけではなかなか見つからなかった。近隣の行政機関や団体との連携強化だけではなく、これまで当所が実施していなかった国際研修事業のあり方について、今後検討していく必要がある。



ホストファミリーとの情報交換会



能登青少年交流の家職員との意見交換